



飯野海運株式会社



日本郵船



2024 年 1 月 26 日

環境対応 VLCC・デザインコンセプト検討の為のコンソーシアムを結成

出光タンカー株式会社
飯野海運株式会社
日本郵船株式会社
日本シップヤード株式会社

出光タンカー株式会社、飯野海運株式会社、日本郵船株式会社、日本シップヤード株式会社の 4 社は、マラッカマックス型(*1)大型原油運搬船 (VLCC: Very Large Crude Oil Tanker)の温室効果ガス排出削減を目標とし、デザインコンセプト (主要目・主要機器・環境対応機器) の共同研究開発を行うコンソーシアム(*2)を結成しました。

1. コンソーシアム結成の経緯

現在、脱炭素が世界的な課題となっている一方、エネルギー安定供給の観点から石油は引き続き不可欠な存在です。原油輸入量の 90 パーセント以上を中東に頼る日本では、その経済活動において原油輸送に従事する VLCC が重要な役割を担っています。海運関係各社では、その輸送に際して発生する温室効果ガスを最小限に抑えるため、従来燃料である重油から次世代燃料への切り替えや、二酸化炭素 (CO₂) 回収装置などの環境対応機器搭載の検討を行っています。

これらの課題に対し、出光タンカー株式会社が発起人となり、4 社は日本のエネルギー輸送の担い手として、会社の枠を超えて最適解を検討すべく、コンソーシアムを結成しました。

2. コンソーシアムでの取り組み

4 社は従来比で 40%以上の温室効果ガス排出削減を目標に、それぞれの分野において培ったノウハウを結集し、最終的に VLCC の建造・運航を視野に入れた次世代燃料・環境対応機器の効果の検証/選定、デザインコンセプトの作成を進めてまいります。

*1：日本・中東をつなぐ主要航路であるマラッカ海峡を通峡可能な最大船型。

*2：複数の当事者が共通の目的に沿った活動を行う為の組織。



コンソーシアム結成の調印式

左から：飯野海運株式会社 小園江取締役専務執行役員
日本シップヤード株式会社 廣瀬取締役営業本部長
出光タンカー株式会社 松尾代表取締役社長
日本郵船株式会社 渡辺常務執行役員



次世代環境対応 VLCC のイメージ

各社概要

<出光タンカー株式会社>

本社：東京都千代田区

代表者：代表取締役社長 松尾 一郎

ウェブサイト：<http://www.idemitsu.co.jp/tanker/>

<飯野海運株式会社>

本社：東京都千代田区

代表者：代表取締役社長 大谷 祐介

ウェブサイト：<https://www.iino.co.jp>

<日本郵船株式会社>

本社：東京都千代田区

代表者：代表取締役社長 曾我 貴也

ウェブサイト：<http://www.nyk.com/>

<日本シップヤード株式会社>

本社：東京都千代田区

代表者：代表取締役社長 前田 明德

ウェブサイト：<https://nsyc.co.jp>

～お問い合わせ先～

出光タンカー株式会社：業務部 事業戦略企画課

(URL：https://www.idemitsu.com/jp/contact/group_flow/index.html)

飯野海運株式会社：油槽船部 油槽船課

(URL：<https://www.iino.co.jp/kaiun/contact/form.php>)

日本郵船株式会社：広報グループ 報道チーム

(E-MAIL：NYKJP.ML.MEDIA@nykgroup.com)

日本シップヤード株式会社：営業本部

(URL：<https://www.nsyc.co.jp/contact/>)